

栃木県生協連・2012年度7月定例報告

2012年7月25日
栃木県連 専務 鎌柄

(1) 6月活動日誌

| 日付 | 曜日 | 内容 |
|-------|----|--|
| 6月1日 | 金 | MCA無線訓練 |
| 6月4日 | 月 | 消費者ネットワーク全体会 |
| 6月5日 | 火 | 県連くらし部会、宇都宮市職員生協総代会、県連国際協同組合年ワーキングチーム会 |
| 6月7日 | 木 | 生活クラブ生協総代会、食の安全ネット世話人会 |
| 6月9日 | 土 | いわき市四倉仮設でのお茶会 |
| 6月14日 | 木 | とちぎコープ総代会 |
| 6月15日 | 金 | 日生協総会 |
| 6月16日 | 土 | よつ葉生協総代会 |
| 6月17日 | 日 | NPOとちぎ消費生活サポートネット総会 |
| 6月18日 | 月 | 県食育推進連絡会 |
| 6月19日 | 火 | ふれあいお茶会、栃木県学校生協総代会、(仮)食の安全安心とちぎ消費者セミナープロジェクト会議 |
| 6月20日 | 水 | 県・県北地区食品安全地域フォーラム(那須塩原市) |
| 6月22日 | 金 | 栃木県職員生協総代会 |
| 6月23日 | 土 | 栃木県実行委員会主催「協同組合まつり」 |
| 6月24日 | 日 | 栃木保健医療生協総代会 |
| 6月29日 | 金 | 県連第43回通常総会 |
| 6月30日 | 土 | くらしと協同研究所シンポジウム |

※まとめは概況とします。

(2) 6月活動の概況

(会員の動き)

5～6月会員の総代会を終え、役員の新体制が報告されてきている。理事長が交代された会員が3生協ある。とちぎコープ生協、生活クラブ生協、栃木保健医療生協が新たな体制となった。会員の2011年度経営実績は、地域生協が増収や増益となり、職域生協・大学生協が減収や減益の傾向が見られた。

(県連総会)

6月29日第43回県連総会が、とちぎ福祉プラザで開催された。2011年度の剰余金処分、2012年度方針では震災の被災地、被災者の方々への支援の継続、各分野の方針が確認された。今期は改選期であり、役員選任議案が承認された。新任理事3名(宇都宮市職員生協鈴木理事、とちぎコープ生協宇津木理事、宇都宮大学生協渡辺理事)、退任理事及び辞任理事5名(宇都宮市職員生協高橋前理事、とちぎコープ生協北口前理事、宇都宮大学消費生協秋元前理事、栃木県労働者消費生協刀川前理事、富士重工宇都宮生協木目沢前理事)の交代などが承認及び報告された。

県連新理事会の四役体制は、竹内会長、高橋副会長、白土副会長、鎌柄専務、中田常務、富居常務と継続の体制が第1回理事会で互選された。

(部会の動き)

6月5日くらし部会が開催された。総代会を迎えて3会員の活動の報告がされた。生活クラブ生協の地域別の組合員加入の取り組みやよつ葉生協のよつ葉カフェ、とちぎコープの総代会準備などの報告があった。2会員3人の理事さんが総代会での退任予定とのことで、挨拶がされた。

(宇都宮市内と福島県で避難されている方々のふれあいお茶会)

6月19日ふれあいコープの特養みどりで、福島県から宇都宮市内に避難されている方々に対する第10回目の「ふれあいお茶会」が開催された。今回は21名の方(内浪江町の方4名、大熊町の方2名、双葉町の方5名、相馬市の方1名、南相馬市の方1名、福島市の方3名、須賀川市の方2名、楡葉町の方2名、飯館村の方1名、スタッフ関係者の方15名(とちぎコープ、NPOウィズ、ふれあいコープ、県連)の参加があった。お子さんの参加も1名あり、福島県行政からも2名の参加がされた。避難されている方々の交流の輪が広がっている。「ここにくると皆に会えるのがうれしい。福島フラワー会が順調に動き出している。」など声が出されていた。

(いわき市中核工業団地内仮設でのお茶会)

いわき市内には、福島県内の震災被害と原発事故で仮設に入居されている方々の仮設が複数設けられている。NPO宇都宮市民工房では、現地のいわきNPOセンターとの連携で、同市内湯本の仮設に月2回月曜日に支援に入っている。

生協連では、いわき四倉工業団地内仮設でのお茶会を3月から開催し、6月で4回目を迎えている。仮設の管理人さんの協力で事前に仮設にチラシをまいて貰い、6月9日(土)朝壬生のコープおもちゃのまち店に集合し、高速を使いよつ葉生協のワゴン車、とちぎコープの車の2台で、2会員、県連、有志11名でいわき市四倉町に向かった。

事前の準備として当日早朝からパンづくりや、漬物などの用意をされたり、今回も2生協の理事の皆さんにご苦勞ををいただいた。今回はお茶会の中で、手作りのタイル作りを通して、交流がされた。初めてお孫さん3名の参加もあり、賑やかな雰囲気の中、大人14名、計17名の方が来られて、お話をされながらひと時の交流の場となった。

(EAST LOOPへのご協力をお願い)

岩手、宮城など被災された方々が製作されているハートブローチについて、約500ヶの普及が進められた。とちぎコープ、よつ葉生協で組合員さん向けに事業ルートを通して普及が取り組まれている。

(食の安全課題の関連)

6月19日とちぎ食の安全ネットワークでは、県の受託事業を想定して(仮)食の安全安心とちぎ消費者セミナーの「プロジェクト」を設けて、県内約15会場の企画と具体化の準備を進めている。

6月20日には、栃木県とネットワークの協働事業として「食品安全フォーラム」の県北版「地域食品安全フォーラム」が、那須塩原市の三島ホールで開催された。約300名の参加があった。今年度は秋から6~7月に時期を早めて、開催することになった。食品における放射性物質の基準が変更されたことから、食品安全委員会や厚生労働省からの報告がされた。もう一つのテーマである水産物の影響について、海洋生物環境研究所渡部輝久研究参与の講演が行われた。県からのモニタリング検査の報告もあり、全体質疑時間が限られたこと

が課題となった。事前の申し込みのない当日の参加者の方も多く、関心の高さは変わっていないことが分かった。

(消費者課題の関連)

6月4日とちぎ消費者ネットワークの全体会が開催された。2回目の消費生活条例の学習会が、杉原代表に講師をお願いし行われた。県くらし安全安心課消費者行政推進室の山本課長補佐はじめ3名が参加された。

県議会としても消費者行政についての調査が予定されていることなど報告された。ネットワークとしては、自治体の消費生活条例の試案づくりを行う方向が確認された。

(国際協同組合年)

国際協同組合年記念事業としての「協同組合まつり」が、栃木県実行委員会の主催で、6月23日(土)マロニエプラザで開催された。36団体、52ブースの出展で、約1万人の県民の参加をいただいた。5回の実務担当者会議を持って、行政、協同組合関係の36団体から出展へのご協力と準備をいただき、お陰様で大規模な行事を成功させることができた。中心の事務局を担われたJ A栃木中央会にも感謝を申し上げたい。



(主催者挨拶をされる栃木県実行委員会 高橋一夫代表)

6月5日国際協同組合年の県連ワーキングチーム会の第10回目が開催された。よつ葉生協の中田部長の司会で進められた。「協同組合の役割と未来」第2章の学習では、「信用金庫・日本労働者協同組合連合会編」について、生活クラブ生協の中塚部長から報告と「協同組合憲章草案について」とちぎコープ生協の関口担当から報告が行われ、宇都宮大学農学部の神代先生から助言をいただきながら意見交換が行われた。

(3) 8～10月の課題

1. 8～10月部会活動の推進
2. 8～10月ネットワーク活動(食の安全ネット、消費者ネット)推進
(仮・食の安全安心とちぎ消費者セミナーの準備と推進を含む)
3. 2012年国際協同組合年栃木県実行委員会開催
4. 栃木県生協連内の国際協同組合年ワーキングチームの活動推進
5. 安心して住める「福島」を取り戻すための活動推進
6. 震災被災地・被災者への支援・ボランティア派遣

(平成24年度・栃木県・関係団体等関係行事の事前のお知らせ)

1. 栃木県生協連の活動予定

7月17日10時～、特養みどり「ふれあいお茶会」

8月4日(土)8時壬生集合、11時～、いわき市四倉工業団地仮設での「お茶会」

8月7日10時～、福祉プラザ、「第2回くらし部会」

2. ネットワークの活動予定

7月13日13時半～、アグリ、とちぎ食の安全ネットワーク学習会と全体会
(13時半～学習会・消費者庁食品表示課
「消費者庁食品表示一元化について」)

7月17日13時半～、ふれあいコープみどりの樹、福祉ネットワーク全体会

7月26日13時半～、県司法書士会館、とちぎ消費者ネットワーク幹事会

3. 栃木県及び宇都宮市の行事参加の予定

9月2日(日)栃木県・那須烏山市総合防災訓練

10月8日(月)うつのみや食育フェア(宇都宮城址公園他)

12月1～2日(土)県ECOテック&ライフ2012